

その幽霊は

ある男に

恋をした

これはメールでお話をお聞かせいただいた話になりまして。ちょっと、その方に教えていただいた内容になります。場所とかはボカシてお話させていただきたいと思います。

T 県にあります I で始まる地域で部屋を探すために不動産屋さんを訪れている時の事なんです。

もう、かれこれ大分昔の話なのですが、当時は敷金礼金は必ず払わないといけない時代の事です。2 ヶ月、3 ヶ月は普通に掛かっていたんですね。

それで探していると「おっ！」っと声を上げて喜んで見つけた物件がありまして。

敷金・礼金 0 ヶ月という物件が見つかったんですね。

当時、一人暮らしをするために一生懸命色んなバイトを掛け持ちして必死にお金を貯めて念願の物件を探そうとしていたので不安はあったのだけど、この物件の立地が通学とか通勤とかで利便性はかなり良い立地だったんです。

不安こそはあったんですが、金銭的にも条件的にもかなり良い物件に思えたので見つけた瞬間にこの物件が良いだろうと契約をすることにしたんです。

内見もせずに契約書を取り交わし、すぐに引っ越しの準備を整えいざ入居してみると、1 K の物件なんです。

部屋の北側に洗濯機置き場があるんです。何部屋かあって一番端っこの角部屋だったんです。

玄関があってちょっと横の方にトイレがあってその隣に風呂場と洗濯機を置くスペースがあるわけです。

キッチンがあって、ワンルームあつての 1 K だったんです。

部屋側が南側になっていて何処にでもあるような間取りになっているんです。

ただ1つだけ。玄関が北口なんですけど、玄関の先というのが、墓地になっているんです。

「ああ、これが初期費用が安い理由かな」

と思いあまり気にしてなかったんです。

ある程度の引っ越しが終わりまして、学校とバイトの毎日の日々が始まるんだという事で、その日は夕飯を終えてから床についたんです。

ところが、その日は疲れがたまっていたのだらうと思うんですけど、寝てる時に金縛りにあいまして…。

まあ、疲れているんだらうなっと思っていたんです。

暫くするとパッと金縛りが解けて寝入りについたわけなんです。まあ、こんなこともあるだらうと気にも留めてなかったんです。

朝起きて学校行って、バイトをしっかりとってという毎日のルーチンをこなしていたわけです。

ところが、金縛りが毎日のように続いていたわけです。

何となくなんですけど、ほぼ同じ時間帯に起きるわけなんです。これ、ちょっとおかしいなって思いましてね…ふと、考えがよぎったんです。

金縛りにあった時に目を開けてみようと。

それでその日は床に就きました。

その日も金縛りが起きるわけです。

良く見てみると、白いモヤみたいなのがゆらゆらと動いているわけなんですよ。

これは「出たな」と思いまして良く観察してみようと覚悟決めましたね。

どうも白いモヤというのが女性のようにでした。

髪は黒い髪の毛が腰までスツとあるわけです。
特に髪の毛が乱れるという事ではなくどちらかというと奇麗に櫛で梳かされたようにスツとなっているんです。

続

き
は

本編

に
て
お

楽しんでください